

創業二百年余年、第19代内閣総理大臣原敬が命名し、マッカーサーが愛した酒



寛政元年(1789年)、瀬頭酒造株式会社  
「東長」は初代、瀬頭多次兵衛が「丸平正宗」  
の銘柄で佐賀県嬉野市塩田町の地で創業。  
大正9年法人化をきっかけに「東長」を発売。



「東長」を命名したのは、当時の政友会総裁  
で首相であった原敬氏。  
酔い心地のさわやかさ、おおらかさを  
「アツマの国のオサ、すなわち東洋の王者に  
にふさわしい」と命名した由緒あるお酒。



昭和20年、戦後混乱期の日本でGHQ  
総司令部主催によるパーティーが開催され、  
佐賀有田の陶工である十二代酒井田柿右衛門  
も招待される。柿右衛門は親交の深かった  
瀬頭平八のところへ立ち寄り、道中用で東長を  
手に列車へ乗り、車中で飲み切れず、十二代は、  
酒を持ったままGHQパーティーに出席し、それが  
マッカーサー元帥の目に留まり、マッカーサー  
に気に入られ、GHQの指定商品になりました。

大吟醸

東長

山田錦

厳選された山田錦(佐賀県 塩田産)と塩田川の伏流水を原料  
とし、醸し上げた大吟醸。上立ち香は、メロンのような香り。穏やかな  
甘味が感じられ、スッキリと切れていく。



醸造元

瀬頭酒造有限公司

〒849-1425

佐賀県嬉野市塩田町大字五町田甲三二七番地

電話 0954-66-2014(代)

原料米	山田錦
精米歩合	60%
日本酒度	+4
酸度	1.3
アルコール度	18%

未成年の飲酒は法律で禁じられています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響する恐れがありますので、気を付けましょう。